

編集委員

- 出版部会長 間 紀 旺 (慶 應 大)
委員 長 武 沢 英 樹 (工 学 院 大)
幹 事 伊 藤 幸 弘 (都 立 産 技 高 専)
副 幹 事 金 子 健 正 (長 岡 高 専)
委 員 今 井 正 芳 (荏 原 製 作 所)
上 野 原 努 (大 阪 大)
浮 田 芳 昭 (兵 庫 県 立 大)
江 口 雄 大 (日 産 自 動 車)
大 西 修 (宮 崎 大)
カチヨーンルンルアン・
バナー ト (九 州 工 業 大)
喜 入 朋 宏 (ミ ッ ト ヨ)
木 下 裕 介 (東 京 大)
喜 藤 寛 文 (オ リ ン パ ス)
久 米 健 大 (夏 日 光 学)
毛 戸 康 隆 (日 立 製 作 所)
小 玉 脩 平 (東 京 都 市 大)
佐 藤 遼 (東 北 大)
佐 藤 健 太 (東 京 大)
神 保 康 紀 (明 治 大)
菅 洋 志 (千 葉 工 業 大)
武 井 良 憲 (産 総 研)
武 田 巨 平 (愛 知 工 業 大)
藤 中 島 省 吾 (牧 野 フ ラ イ ス 製 作 所)
永 田 毅 (明 治 学 院 大)
成 澤 慶 宜 (埼 玉 大)
橋 本 洋 平 (金 沢 大)
長 谷 亜 蘭 (神 奈 川 大)
平 田 祐 樹 (東 京 科 学 大)
溝 道 畑 正 岐 (山 口 東 京 理 科 大)
森 弘 樹 (キ ャ ノ ン)
山 口 大 介 (岡 山 大)
山 下 典 理 男 (DMG 森 精 機)
学 生 委 員
大 見 康 晟 (同 志 社 大)
高 畑 光 汰 (茨 城 大)
竹 村 光 太 郎 (埼 玉 大)
長 谷 川 健 登 (埼 玉 工 業 大)
平 井 悠 翔 (埼 玉 工 業 大)
前 尚 斗 (埼 玉 大)
前 山 笑 吾 (東 京 科 学 大)

次号予告

- 特集「ウェット加工工程の基盤現象と先端応用技術」
超精密表面計測が拓く固液界面プロセスの高度化と展望
超短パルスレーザーが拓く完全固溶合金ナノ粒子合成—レーザー誘起還元法の基礎と精密工学への展開
AFM および液中顕微鏡法によるウェットプロセスでのナノ粒子観測および剝離の動力学・エネルギー解析
蛍光信号による機械加工ウェット界面のナノインプロセス/オンマシン計測
半導体製造における放電加工技術—リードフレーム・封止金型加工とGaN/SiC基板スライス加工—
半導体研磨後洗浄におけるPVAスポンジブラシの接触・変形解析と粒子排出性能
グラビア&インタビュー
西部電機株式会社
私の歩んできた道
谷 泰弘 (2回目)
はじめての精密工学
はじめてのアーク溶接
研究所・研究室紹介
千葉大学 大学院工学研究院 機械工学コース 加工物理学研究室 (CATs-lab)

特集 水中ロボットを支える精密技術

展望

自律型水中ロボット (AUV) の開発と社会実装 近藤 逸人 279

解説

可視・非可視波長レーザーの海底反射を適用する先進的の海底可視化技術 石橋正二郎 283

AUVによる浮体式建造物の水中部点検制御技術—スパー型浮体式洋上風力発電施設の

全自動調査にむけて— 高島創太郎/高月 直樹/長野 和則
川島 昇悟/田岡 智/工藤 謙輔/大藪 祐司
近藤 逸人/西田 祐也/浦 環 288

海をつなぐ水中音響通信 武田 啓之 293

海底画像観測用差動推力型水中ロボットのための潮流外乱オブザーバ 西田 祐也/宮川 亮/石井 和男 297

バイオミメティクスが変える水中ドローンの世界—マグロとイルカの尾鰭推進とペンギンの羽ばたき翼推進— 田中 博人 301

私の歩んできた道 複合粒子研磨法 連載第1回/全3回 谷 泰弘 312

グラビアとインタビュー 精密工学の最前線 深海 8,000 m へ—未知の超深海調査に貢献する自律型無人探査機「うらしま 8000」 275
海洋研究開発機構 中谷 武志
インタビュー: 喜入 朋宏

はじめての精密工学 はじめての SiC ウェハ加工 加藤 智久 306

研究所・研究室紹介 九州工業大学 大学院情報工学府 情報創成工学専攻 先進半導体精密加工研究室 (鈴木研究室) 310

会員企業を訪ねて PC 制御に特化して取り組んできた制御装置メーカー ベッコフオートメーション株式会社 319

- アフィリエイト通信 314
入会のしおり 321
会告 告 4-1
編集後記 告 4-10

複製される方へ
精密工学会では、複写複製及び AI 利用に係る著作権を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、(社)学術著作権協会 (https://www.jaac.org/) が提供している許諾システムを通じてご申請ください。
尚、著作物の転載のような上記以外の許諾は直接本会へご連絡ください。

精密工学会は、日本学術会議から「日本学術会議協力学術研究団体」の称号を付与された団体です。

公益社団法人 精密工学会

論文

- 3D Gaussian Splatting を用いた直感的かつ柔軟な描画操作による 3D アノテーションシステム ————— 322
石上陽也, 佐藤智実, 岩田健司, 佐藤雄隆

- 抽象的かつ複雑な類似性を持つ画像解析のための教師なし距離学習 ————— 328
帯金 駿, 田川晴菜, 青木義満

- Pose Estimation Robust to Background Variation for Automated Alignment of Flat Cable to Receptacle ————— 336
Jonghak LEE, Shinsuke NAKASHIMA, Hiroki MURAKAMI, Tetsushi NAKAI, Qi AN and Atsushi YAMASHITA

上記論文は J-STAGE (科学技術情報発信・流通総合システム) でも会員・会員外を問わず、公開されています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjspe/-char/ja>